

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービス夢未来宝塚					
				公表日	令和 7年 2月 4日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		現在は適切。利用者の増加に応じて、随時考えます。送迎車と送迎スタッフの確保が課題。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	勉強部屋、遊びや工作の部屋等に分かれており、切り替えがしやすいようにしています。大人数で遊びたいときは学院に移動しています。	築年数古く、2階建ての為、バリアフリー化が難しいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	支援中も換気等注意し、業務終了後、清掃、消毒しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	使用していない部屋（食堂）で、対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		その日の出勤者のみになりますが（常勤者）支援会議を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		今回が初めての評価になります。意見を基に、会議で共有し、改善していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		業務前、業務終了後、問題点や、改善点等、気づいたことを、都度話していける時間があります。月1回のスタッフミーティングも行っていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2		現在は、第三者の評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	確保されています。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			新しい支援プログラムを作成しましたので、ホームページに掲載します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	5		モニタリングや、保護者様から頂いたアセスメントを基に、5領域に基づいた支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員間で情報共有し、統一する部分は統一の支援で、役割分担する部分はそのように対応しています。	
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		ケース会議に参加や、毎日のミーティングで共有され、支援が行われています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		5領域20項目リスト使用と日々の観察により、確認。	
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		個別支援計画の形式が変わったことで、支援計画の立て方も変わり、内容が充実したと思われれます。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		常勤スタッフを中心に行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		季節の行事や、遠足等、組み込まれています。基本本人が何をしたいかで決めることが多いです。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	5			現在、利用者数も少なく、集団活動の苦手な児童が多い為、個別支援がほとんどです。今後、徐々に集団活動を増やしていきたいです。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		業務日誌に記録されています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		6か月ごとにモニタリングを行っています。	
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5		地域交流で、地域の福祉施設のお祭りや、イベントに参加しました。また利用児の兄弟（中学生が）ボランティアで遠足に参加してくれました。	
	25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		毎回、今日は自分はここで何をしたいのか考えて計画を立ててもらい、行動することをしています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	関係機関の担当者会議はありませんでしたが、相談支援所や、関係機関の電話での連携を、児童発達管理責任者が行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	2	2		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	同法人のフリースクール生徒との交流はあります。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	送迎時や、電話、訪問でお話しています。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		現在、行われておりませんが、保護者会、研修会等、検討して参ります。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
36	【児発センターのみ】 (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					

	37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	1	3	下校時刻の変更などの確認等行っています。	
	38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3		現在は該当者はありませんが、必要時は情報共有したいです。
	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		3		現在は該当者はありませんが、必要時は情報共有提供します。
	40	【放デイのみ】（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		新しい支援プログラムはまだ公表していませんが、開業時のものは入所時にお話しています。新しいものを作成いたしましたので、再度説明いたします。	
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		現在は送迎時に、少しお時間いただき説明させていただいていますが、時間的に難しくなれば、別の時間を設けたいと思います。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		6か月ごとのモニタリングや、アセスメント作成時にお話を聞いています。必要時には、電話でお聞きしたり、面談等行っています。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		今回の評価で、交流のご希望がございましたので、早急に検討いたします。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			現在はございませんが、申し入れがございましたら早急に対応いたします。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	アプリを通じて、行事予定や、日々の様子を写真入りでお伝えしております。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		保護者様への情報伝達に関しては必ず、職員で共有しています。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		グループ会社の1つとして、夢未来学院に、地域の方を招待して、マルシェ等行い知っていただく機会を設けました。	
	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		6か月ごとのモニタリングや、アセスメント作成時にお話を聞いています。必要時には、電話でお聞きしたり、面談等行っています。	
非常	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		マニュアルの作成はしております。勤務日数の少ないスタッフにや、保護者様に周知は不十分でした。今後、説明させていただきます。また、訓練も行っております。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		現在、該当児童はいませんが、今後、入所時に確認し、その場合は、都度、対応していきます。	
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	3		現在、該当児童はいませんが、今後、入所時に確認し、その場合は、都度、対応していきます。	

時 等 の 対 応	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		安全計画は作成されております。勤務日数の少ないスタッフ、保護者様には、周知が、行き届いていません。後日ご説明させていただきます。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			現在、起こってはおりませんが、会った場合は、必ず共有し、検討いたします。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		常勤職員のみ、実研修を行いました。内容を、他職員に、共有しています。	
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	該当児はいませんが、職員間で支援方法を話し合い、計画書に記載したいと思います。	